

第5回 平成29年度 津山市地域公共交通会議 会議要旨

平成29年10月10日 10:30～
津山市役所本庁舎4階402会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 協議事項

1)「ごんごバス小循環線」の経路変更について

【事務局説明】

津山駅南の公共交通空白地の解消と、「つやま学びの鉄道館」への来訪者への利便性向上を図るため、「ごんごバス小循環線」を駅南に延伸するものです。運行キロや所要時間が伸びるため、現行の9便から7便に減便となります。(付議事項 資料 参照)

【協議内容】

(委員A) 延伸となるなら、資料にある現在運行キロ137.7^{キロ}が延伸後129.5^{キロ}になるのはおかしくないか。

(事務局) 説明不足で申し訳ありません。ここの「運行キロ」は一日あたりのキロ数です。1運行あたりのキロ数は増えていますが、便数が減便となっているため、一日あたりの「運行キロ」は減少となっています。

現行：1運行 15.3^{キロ} 1日あたり 15.3^{キロ} × 9便 = 137.7^{キロ}

延伸後：1運行 18.5^{キロ} 1日あたり 18.5^{キロ} × 7便 = 129.5^{キロ}

(委員B) 今回は小循環線についてだが、他のごんごバスも含めて、観光観点からの表示をバスの行先表示など実施してはどうか。たとえば行先に観光名所の表示をするなどを検討しては。

(委員C) 現行の運行車両の表示器には、表示文字数などの制限もある。一方で、車内の表示やバス停などの表示は検討できる。

(事務局)「ごんごバス小循環線」という名称自体がわかりやすいかといった問題もあります。また、観光施設へのバスの周知や、駅バス乗り場での観光名所の表示は可能です。

(会長)観光客などにわかり易い表示を検討するように。

(委員 D)観光客の利用を考えると、いちいち「津山駅」に戻るルートはどうなのか？

「まなびの鉄道館」「城西地区」「城東地区」をいっぺんにつなぐことはできないのか？

一般の利用者を考えると、現在のルート設定となるのは理解できるが。

(事務局)実際のところ、いちいち駅に戻るルート設定が複雑さを増していると言うご意見もあります。逆に、いったん駅に戻ってくるということでわかり易いのご意見もあります。

運行開始時の設定が、中心市街地の足という観点が強いという面もあります。

また、小循環線が現在の利用者に定着化しており、ルートを大幅に変更することは難しいところがあります。

(委員 E)「まなびの鉄道館」への観光客に対して JR 津山線との乗継を意識してのダイヤ設定しているが見るが、駅南の生活利用者と観光客では利用しやすい時間帯は違うのではないか？生活利用者向けに平日ダイヤ、観光客向けに土日ダイヤなどを検討してはどうか。

(会長)事務局は調査をすすめ、改善できる場合は改善するよう検討するように。

(委員 F)便数が減って運行するというので、現在利用者への影響はないのか？

(事務局)乗降調査の結果から、減便対象となる時間帯は利用者が少ないと判断しております。影響も限定的なものと考えております。

(委員 B)減便となった理由は、これは乗務員不足のためか？

(事務局)そのこともありますが、1運行のキロ程が伸びたため、運行ルーティンが回らないのが大きな理由です。車両も乗務員も限られた中で効率的に運行するためご理解ください。

(委員 C)津山駅でのバス待機時間は30分ほどだが、待機中に前後8分はお客様のために、乗り場に乗務員は待機している。少しでも、運行遅延が発生すると、運転手のトイレ時間も確保できないのも減便の理由である。

～ 全会一致で承認 ～

2) 「公共交通利用の日」プレイベントの実施について

【事務局説明】

津山市公共交通網形成計画にも記載しておりますが、平成30年度に正式な制定を目指している「公共交通利用の日」について、前倒しで「公共交通利用の日」プレイベントを平成29年11月11日に、「津山駅北口広場」で実施します。

(付議事項 資料 参照)

【協議内容】

(会 長) これは何時から何時まで実施するのか？

(事務局) 9時30分から16時00分までとしています。10時開始とすると、JR津山線快速便と合わないため、開始を9時30分としています。

(委員 A) 来年度の利用の日の設定は、時期や、期間はどのように設定するつもりか？

(事務局) 計画策定時は、特定の日ないし週といった形を考えておりましたが、より長期的または、「毎月の何日」といった形を検討しているところです。

(委員 E) どのぐらいの人が来ると思っているのか？

また、車で来る人も多いかと思うが、パークアンドライドとは考えてないのか？

(事務局) 200～300人は来ると想定しています。また、市役所プール跡地駐車場に車を停めて、ごんごバスへ会場に向かうといったパークアンドライドを検討しております。津山東高等学校にご協力をいただいて、実施したいと思っております。

(委員 B) タクシー協会も協力するが、今度タクシー車両がジャパントクシーという次世代タクシーとなるが、それを会場において周知することができないか？

(会 長) 対応可能か？

(事務局) 可能です。

(委員 C) ごんごバスの1日乗車券も、これに合わせて実施したいと考えているので協力願いたい。

～ 全会一致で承認 ～

3) 追加議案 ごんごバスの正月運行について

【委員 B から提案】

付議事項としてあげていないが、平成30年の正月に限ってだが、ごんごバスを一部減便して運行したい。現在運転手が減っており、運転手の休日確保の観点から実施したい。減便する便については、乗降調査の結果からほとんど利用者に影響がないと考える。

ごんごバス小循環線	1月1日～1月3日の最終便を運休
ごんごバス西循環線	1月1日～1月3日の津山駅発 15:30 発便を運休
ごんごバス倭文・宮部線	1月2日 全休

【協議内容】

- (委員 E) 減便したことにより、どの程度乗務員は楽になるのか？
- (委員 B) 1 仕業分減るので、乗務員 1 人あたり 1 日休暇を与えることができます。
- (委員 E) それは乗務員にとってうれしいレベルなのか？
- いっそのこと 3 日間運休しては？ 微妙に減便する方が、混乱の元では？
- (委員 B) 現場としてはありがたいご意見です。
- (事務局) 今回は、付議事項として文書にてあらためて委員の皆様にお諮りいたします。

～ 閉会 ～